

〔8月号目次〕

【子どもたちと松江堀川の生き物調査をしました！ 松江堀川水環境協議会活動報告（その1）】	河川課
【「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」に18の団体が参加！】	環境政策課
【神西小学校の児童のみなさんに吉祥寺橋の橋名板の文字を書いてもらいました！】	出雲県土整備事務所

子どもたちと松江堀川の生き物調査をしました！

～松江堀川水環境協議会活動報告（その1） 事務局：島根県土木部河川課～

河川課企画調査グループ

平成27年8月19日、松江堀川で生き物調査をしました。市立内中原小学校（松江市内中原町）の児童や保護者約50人が、生き物の採取や観察を通じて身近な水環境への理解を深めました。

目視調査、カニカゴや投網を使った捕獲調査を行い、マハゼやボラ、テナガエビ、ヤマトシジミのほか外来種のアカミミガメなど33種（264個体）の生き物が見つかりました。

児童は、「カメや魚などたくさんの生き物がいて良かった」とうれしそうに話していました。

また、調査後の学習会では、「思ったより水質が良かった」、「堀川にシジミがいてびっくりした」と良い意見もありましたが、「川の中や近くにゴミが落ちていて、生き物にいい環境ではない」、「外来種がたくさんいた」など改善すべき点も見つかりました。

今後も協議会の活動を通じ、松江堀川の生態系の把握や水環境保全のための啓発活動を重ねながら、多くの市民の皆様の協力を得て、官民協働での水環境保全活動、多様な水辺環境の創出につなげていくことを目指していきます。



（投網による生き物捕獲調査の様子）



（学習会の様子）

松江堀川水環境協議会とは

松江堀川は、水質浄化事業、下水道整備、官民協働で総合的な水質浄化活動に取り組んできた結果、水質が改善し、宍道湖と同様の汽水環境を有しています。引き続き、市民、専門家、関係機関と連携し、生態系の把握や啓発活動などで、汽水環境の一層の保全・創出に努め、さらに観光地松江の魅力アップを図ることを目的に、平成27年7月に県と市の関係課で「松江堀川水環境協議会」を設立しました。

「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」に18の団体が参加！

～優秀な調査活動を行った団体の表彰と活動発表を行いました～

島根県環境生活部 環境政策課 宍道湖・中海対策推進室

宍道湖水質汚濁防止対策協議会は、宍道湖に流入する河川流域の小中学生が流入河川の調査を行うことで、水質や水環境への関心・理解を深め、宍道湖の水質浄化活動のさらなる発展及び環境学習の推進を図ることを目的とした「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」を実施しています。

この事業では、優秀な活動を行った団体について表彰を行っていますが、平成26年度の活動について、平成27年8月3日にサンラポーむらくもで表彰式を開催しました。当日は表彰状授与後、受賞団体を代表して松江市立来待小学校と出雲市立荘原小学校が活動内容の発表を行いました。

表彰団体

【島根県知事賞】

松江市立来待小学校

【国土交通省中国地方整備局長賞】

出雲市立荘原小学校

【農林水産省中国四国農政局長賞】

奥出雲町立三沢小学校

【環境省中国四国地方環境事務所長賞】

松江市立忌部小学校

【宍道湖水質汚濁防止対策協議会長賞】

シルバニアファミリー



受賞団体の皆さん

※平成26年度は参加団体数18団体、参加人数約410人でした。

活動発表の様子

受賞団体を代表して、松江市立来待小学校と出雲市立荘原小学校の児童に活動内容を元気いっぱいに発表してもらいました。

河川の水質調査だけでなく、以下の活動等に取り組みられました。

- ・指標水生生物による水質評価の実施
- ・川や宍道湖のごみの種類や量についての調査
- ・学習内容、川や宍道湖への思いを、劇やポスターにして地域の方々に発表

この事業は平成16年度に開始しました。ひとりひとりのできることは、限られていますが、長く続けることが重要と考えています。皆さんも何ができるか考えてみませんか。



「みんなで調べる流入河川調査」HP〔島根県 環境政策課宍道湖・中海対策推進室〕

http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/shinjiko_nakaumi/ryunyukasen/ryuukyuu_kasen_cyosa.html

神西小学校の児童のみなさんに 吉祥寺橋の橋名板の文字を書いてもらいました！

発信元 島根県出雲県土整備事務所

吉祥寺橋が地域のみなさまに末永く愛されるよう、将来の地域を担う
神西小学校の児童のみなさんに橋名板の文字を書いていただきました。

【書いていただいた文字】

「吉祥寺橋」、「きちしょうじはし」、
「十間川」、「平成27年8月竣工」の4種類

橋名板と記念撮影



とってもステキな橋名板
に仕上がりました♪

～吉祥寺橋の概要～

吉祥寺橋は、昭和11年8月に建造され、以来79年間にわたって地域交通の中心として担ってきました。

長年、地域のみなさまに親まれてきた吉祥寺橋は老朽化が進むと同時に、近年の生活体系の変化から車での通過交通が増え、小学生をはじめとする歩行者のみなさまへの交通安全の確保が難しい状況となっていました。

このことから、出雲市道神西61号線改良工事に伴い、島根県が十間川河川改修工事（河川の拡幅工事）に併せて、吉祥寺橋を新たに建設し、平成27年8月に完成しました。

- 工事箇所：出雲市神西沖町地内
- 工事年度：平成26年度～平成27年度
- 橋長：27.7m
- 幅員：9.25m（車道 6.75m、歩道 2.5m）
- 構造形式：上部工 ポストテンション方式PC単純中空床板橋
下部工 逆T式鉄筋コンクリート橋台
- 総工事費：1.4億円



【記事に関するお問い合わせ先】

島根県出雲県土整備事務所 土木工務部 土木工務第2課（和田） 0853-30-5644

★出雲県土整備事務所ホームページからも閲覧できます。

http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kikan/izumo_kendo/kasen/kitisyouujibasikyousemeiban.html

知ってる？川のこと ～松江堀川ってなに？～

松江堀川は、松江城築城の際に内堀・外堀として開削された人工水路であり、江戸時代には、城や城下町を守る以外に物資の輸送や人の往来、漁場としても利用されていました。

現在の一級河川 **北田川**、**四十間堀川**、**京橋川**、**北堀川**、**城山西堀川**、**上迫子川**、**向島川**、準用河川 **田町川**、**米子川**、**城山内堀川** の10河川を総称して「松江堀川」と言っています。



【編集後記】河川課 企画調査グループ 藤岡八寸志

今号の記事は、「松江堀川生き物調査」や「みんなで調べる穴道湖流入河川調査」など、河川の環境についての記事を掲載しています。平成9年河川法が改正され、今までの河川の2つの役割「治水」、「利水」だけでなく、水辺空間や多様な生物の生息・生育環境としてとらえ、地域風土と文化を形成する「環境」の要素が求められるようになっていきます。

この機会に普段何気なく見ている近く水辺に目を向けてみてはいかがでしょうか。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/index.html>